

# 令和元年度農林水産関係補正予算の概要 (農村振興局関係)

## 1 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施

### (1) 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

#### ① 農地の更なる大区画化・汎用化の推進<公共>

270億円

- ・農地中間管理事業の重点実施区域等において、担い手への農地集積・集約化を加速化して米の生産コストの大幅な削減等を図るため、農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等の整備を実施・支援

#### ② 棚田・中山間地域対策<一部公共>

- ・棚田地域を始めとする中山間地域の振興を図るため、棚田地域振興法に基づく棚田保全・振興に必要な調査の実施や景観修復等の環境整備を支援するとともに、基盤整備と生産・販売施設等の整備を総合的に支援

282億円  
うち棚田地域振興緊急対策 2億円  
うち中山間地域所得向上支援対策 242億円  
うち農山漁村地域整備交付金(中山間地域農業枠) 38億円

### (2) 国際競争力のある産地イノベーションの促進

#### ○ 水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進<公共>

566億円

- ・高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、受益面積の規模要件を緩和し、排水改良等による水田の畑地化・汎用化や、畑地かんがい施設の整備等による畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を実施・支援

### (3) 畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進

#### ○ 草地整備の推進<公共>

58億円

- ・畜産クラスター計画を策定した地域での効率的な飼料生産に資する草地整備を推進

## 2 災害からの復旧・復興と安全・安心

### (1) 台風 19 号等の災害からの復旧・復興

- ① 災害復旧等事業<公共> 600億円
- ・被災した農地・農業用施設等の速やかな復旧等を実施・支援
- ② 特殊自然災害対策施設緊急整備事業 2億円
- ・火山の降灰被害対応のための洗浄用機械施設等の整備を支援
- ③ 農村地域復興再生基盤総合整備事業（東日本大震災復興特別会計の補正予算） 4億円
- ・現在事業が実施されている地域において台風第 19 号等の被害により追加的に必要となった経費等を支援

(復興特会)  
4億円

### (2) 水害を中心とする防災・減災、国土強靱化の更なる推進

- ① 農業水利施設等の防災・減災対策<公共> 572億円の内数  
(農業農村整備事業)  
(農山漁村地域整備交付金)  
34億円の内数
- ・農業水利施設等について、自然災害の際にも機能を確保するため、浸水被害の防止に直結する施設の改修・更新、転落防止のための安全防護柵の設置等を実施・支援
- ② ため池の防災・減災対策<公共> 572億円の内数  
(農業農村整備事業)  
(農山漁村地域整備交付金)  
34億円の内数
- ・下流への影響が特に大きく、早急に対策が必要な防災重点ため池について、機能・安全性の確保のための改修や利用されていないため池の統廃合を支援
- ③ 海岸堤防等の防災・減災対策<公共> 3億円  
(海岸事業)  
(農山漁村地域整備交付金)  
34億円の内数
- ・海拔ゼロメートル地帯等の浸水被害の影響が特に大きい地域において、内水氾濫防止のための排水機場や水門等の補強、高波による倒壊防止のための堤防等の補強等を実施・支援

### (3) CSF・ASF等への対策

#### ○ 鳥獣被害防止総合対策交付金

5億円

- ・CSFのまん延防止と畜産農家の被害防止を図るため、野生イノシシの捕獲活動を直接支援するとともに、広域的な捕獲活動の実施、ICT（情報通信技術）を活用したわな等の効率的な捕獲等を支援

## 3 「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく施策等の推進

#### ○ 鳥獣被害防止総合対策交付金

5億円

- ・ジビエの利用拡大を推進するため、捕獲から処理加工までの情報を関係者が共有できるネットワーク構築の実証、処理加工施設等における人材育成、EC（電子商取引）サイトを活用したプロモーションの展開等を支援

# 農地の更なる大区画化・汎用化の推進 <公共>

【令和元年度補正予算額 27,000百万円】

## <対策のポイント>

担い手への農地集積・集約化を加速化し、米の生産コストの早期かつ大幅な削減等のため、農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等のための整備を推進します。

## <政策目標>

担い手の米の生産コストが9,600円/60kgを下回り、かつ、同コストがおおむね10%以上削減されること

## <事業の内容>

### 農地の大区画化・汎用化の推進

農地中間管理事業の重点実施区域等において、担い手への農地集積・集約化を加速化し、**米の生産コストの早期かつ大幅な削減等のため、農地の大区画化や排水改良、水管理の省力化等のための整備を推進。**

### <主な工種>

区画整理、暗渠排水、農業用排水施設整備 等

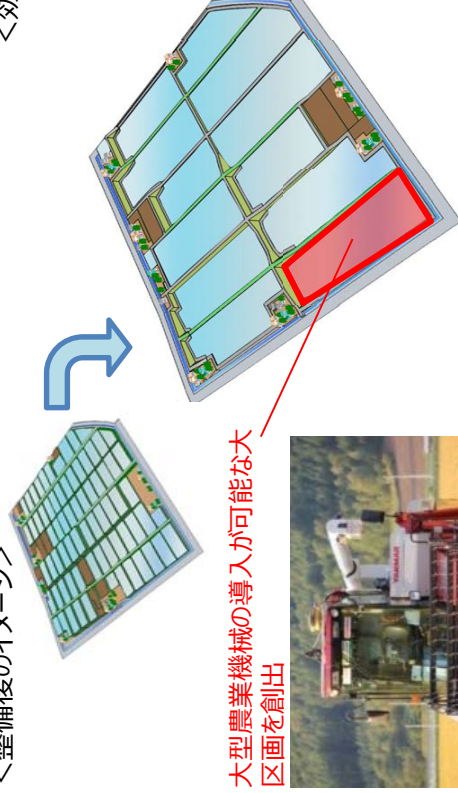
### <事業の流れ>



※事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等

## <事業イメージ>

### <整備後のイメージ>

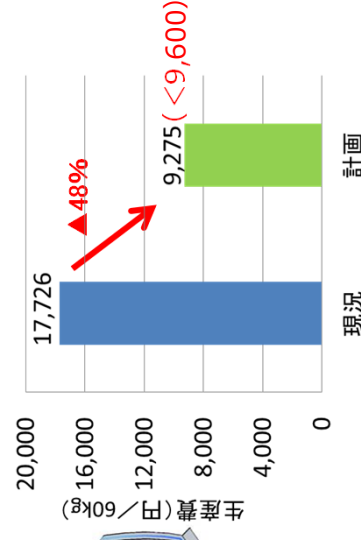


大型農業機械の導入が可能な大区画を創出



### <効果（米の生産コストの低減（円/60kg）>

#### 担い手の米の生産コスト



※対策地区（362地区）における目標値（計画値）の平均値

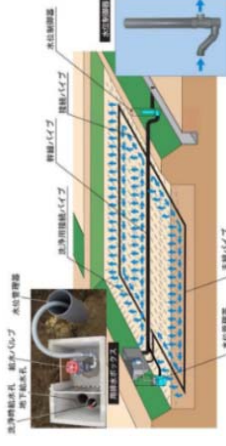
## 水管理の省力化・合理化を可能とするパイプライン化、地下かんがいを推進



末端給水栓



パイプライン化



地下かんがい

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課（03-6744-2208）

# 水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進 <公共>

【令和元年度補正予算額 56,600百万円】

## <対策のポイント>

高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、排水改良等による水田の畑地化・汎用化、区画拡大や畑地かんがい施設の整備等による畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を推進します。

## <政策目標>

事業実施区域において、次のいずれかの目標を設定

- 作物生産額に占める高収益作物の割合がおおむね8割以上となり、かつ、高収益作物に係る生産額がおおむね10%以上増加すること
  - 作物生産額に占める高収益作物の割合がおおむね5割以上となり、かつ、高収益作物に係る生産額がおおむね50%以上増加すること
  - 作付面積に占める高収益作物の作付面積割合が5%ポイント以上増加すること
- ※作物生産額は主食用米を除く作物生産額を対象とする。

## <事業の内容>

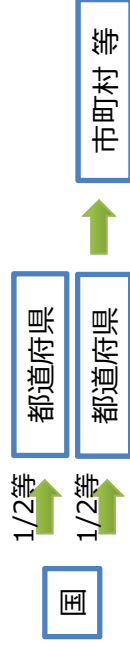
水田の畑地化・汎用化、畑地・樹園地の高機能化等の推進

高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、きめ細かな整備も含め、排水改良等による水田の畑地化・汎用化、農地の区画拡大、畑地かんがい施設の整備等による畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を推進します。

## <主な工種>

区画整理、暗渠排水、農業用排水施設整備 等

## <事業の流れ>

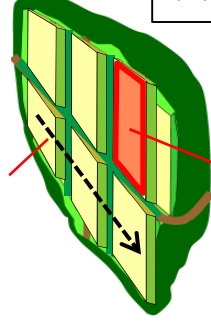


※事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等

## <事業イメージ>

### <畑地・樹園地の高機能化>

傾斜小 (3°)



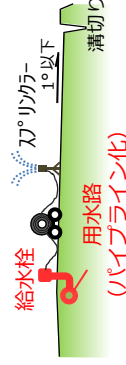
50a程度以上で整備



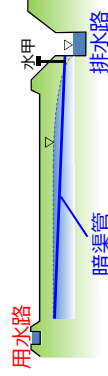
### <水田の畑地化・汎用化>

水田に野菜等を導入できるよう排水改良を行い、かんがい設備を整備

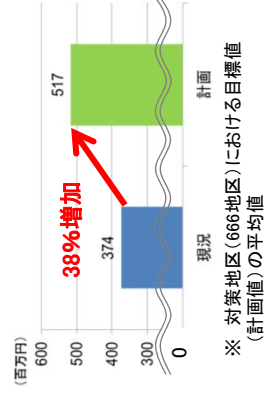
○畑地化のイメージ



○汎用化のイメージ



### 高収益作物の生産額の変化



ハウス栽培



大区画化

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2208)  
農村振興局水資源課 (03-3502-6246)

# 畜産クラスターを後押しする草地整備の推進＜公共＞

【令和元年度補正予算額 5,800百万円】

## ＜対策のポイント＞

肉用牛・酪農の生産基盤強化のため畜産クラスター計画を策定した地域において、飼料作物の単位面積当たりの収量の増加、生産コストの削減に資する、草地の大区画化等のハード整備を実施します。

## ＜政策目標＞

飼料作物の単位面積当たりの収量が25%以上増加すること

## ＜事業の内容＞

### 1. 大型機械化体系に対応した草地整備

大型機械による効率的な飼料生産を一層推進するため、草地・畑の一体的整備、草地の大区画化、排水不良の改善等を推進

主な工種：区画整理、暗渠排水 等

### 2. 家畜糞尿を活用した肥培かんがい施設の整備

家畜ふん尿を発酵しスラリーとして有効活用するための肥培かんがい施設等の整備を推進

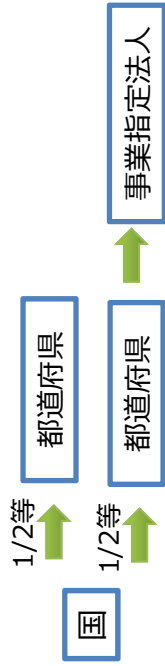
主な工種：肥培かんがい施設、排水施設 等

### 3. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による草地の浸水被害等に対処する整備を推進

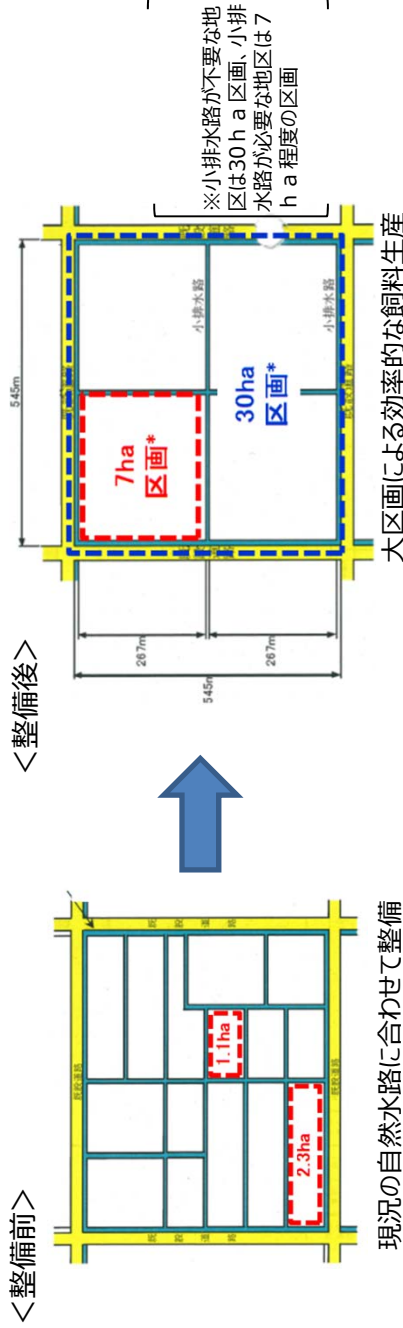
主な工種：整地、暗渠排水、排水施設 等

## ＜事業の流れ＞



※事業実施主体が国の場合は、国費率2/3等

## ＜事業イメージ＞



現況の自然水路に合わせて整備

大区画による効率的な飼料生産



個人所有の農業機械による作業  
作業幅：3.2m



山成に合わせて整備  
急傾斜地



大型作業機械による作業  
作業幅：9.7m



急傾斜地→緩傾斜地  
生産性向上のため、緩傾斜に整地

## 飼料作物の単位面積当たり収量



## 【お問い合わせ先】

- (1の事業) 生産局飼料課 (03-6744-2399)
- 農村振興局農地資源課 (03-6744-2207)
- (2の事業) 農村振興局水資源課 (03-3502-6244)
- (3の事業) 農村振興局防災課 (03-3502-6430)